

かがやく杉谷っ子のために

ONE TEAM



島原市立第四小学校

学校だより No.161

令和6年1月18日(木)

文責：校長 大槻浩二

タブレットを活用した家庭学習について



前期の学校評価において、タブレットを持ち帰っての家庭学習について様々なご意見をいただきました。このことは、Wi-Fi環境の整備など、各家庭のご協力のもと先進的な取組を行ってきたからこそ見えてきた課題です。

学校では、ご意見をもとにして、職員でこれまでの取組を振り返り、今後の取り組み方について検討しました。見えてきた課題と今後の取組内容は、次のとおりです。

【見えてきた課題】

- どのように問題を解いたのか、宿題を済ませているのか、保護者が確認できない。
- ドリルの不具合。短時間に終わる。
- 週末や週明けは荷物が多く、タブレットが重い。
- 宿題以外に、タブレットにふれる時間が増えないかという心配。



【今後の取組】

①タブレットドリルとプリントの併用

○ねらいと内容を明確にして課題を出す。
☆授業で指導した内容（計算の仕方や考え方）を児童がきちんと理解できているかを担任が確認及び把握するとき。

→プリント、学習ドリル

☆学習内容が一定定着した段階で、より多くの問題を繰り返し解かせたり、計算の仕方や考え方を再確認したりして習熟させるとき。
→タブレットドリル

○保護者がタブレットドリルの内容や使用履歴を確認できるように「手引き」とマニュアルを作成し、ホームページに掲載する。

○不具合については、今後も改善を要望する。

②週末の活用と情報モラル

○4年生以上になると、Yomokkaの導入による「朝日小学生新聞」の自主学習への活用や各種調べ学習、予習復習など、活用の広がりが考えられるため、週末の持ち帰りは、原則4年生以上とする。

○タブレット使用ルールについて、保護者とのさらなる連携を図り徹底させる。

○情報モラル教育のカリキュラムをさらに見直し、GIGAタイム等を活用して計画的に育成を図る。

③教科書等の学習用具の持ち帰り

○学校や家庭での学習に必要な用具を、自分で適切に考え、判断し、準備や持ち帰り等ができる子どもを育成する。また、ランドセルの重さの負担を軽減するために、教科書等の持ち帰りは、必要最低限とする。ただし、低学年は、親子で一緒に取り組む宿題等があるため、国語・算数は原則持ち帰る。

お伝えした内容をさらに詳しく、わかりやすくまとめた「家庭学習におけるタブレット活用の手びき」を作成し、ホームページに新たに開設した「GIGA（保護者の皆様へ）」に掲載しております。次のページのQRコードからも確認できます。

併せて各種マニュアルや情報モラル教育サイトも掲載しています。今後もさらに学校と家庭で取り組み内容を共有して、有効活用を図られるようにご協力ください。

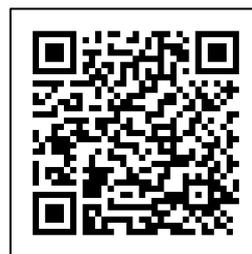
QRコード



【GIGA (保護者の皆様へ)】



【タブレット活用の手びき】



【児童の使用チェック!】

25日は、四小学力調査です！

今月25日(木)に全校一斉に本校独自の学力調査を実施します。今年度も、国語・算数に加え、5・6年生は外国語科も行います。担任から携行品の連絡があると思いますので、学習用具の準備をお願いします。



本学力調査の目的は、1年間の当該学年における学習内容の定着具合を確認し、改善を図ることにあります。結果をすぐに分析し、「一人も取り残さない」「積み残しをしない」を目標に、課題改善に生かしていきます。ご協力をお願いします。

入賞おめでとうございます！

長崎県読書感想文・感想画の入賞者を紹介します。今年もたくさんのお子たちが、受賞しました。おめでとうございます。なお、賞状は2学期末に渡して表彰しております。

特選【感想文】

(2年生) 副島 花琉
(4年生) 永川 千陽
(5年生) 副島 花那

入選【感想文】

(2年生) 永川 富海 助田 千尋
(3年生) 宮崎 愛未 山口 実蘭
(4年生) 金子 來斗
(5年生) 粟戸 駿介 助田直太郎
(6年生) 永川 愛 松本 太陽

特選【感想画】

(1年生) 木村 莉音星
(2年生) 松本 湊人 森本 巽
(3年生) 網本 千夏 (2作品)
(4年生) 永川 千陽 坂本 龍雅
(5年生) 副島 花那 北浦珠衣月
(6年生) 森本有希奈 中村 颯汰
増田 琉伽

入選【感想画】

(1年生) 馬場 真帆 村里 楓
岡本 奏陽 兼田 侑昊
森本 樹
(2年生) 飯田 花心 石田 琳音
桑土 慶子 松本 湊人
(3年生) 梶山 彩葉
(4年生) 松原 一輝
(5年生) 牧 蓮太朗 馬場 理功
宮崎 莉子 山下 紗羽
(6年生) 林田 佳剛 堀川 真鈴
永川 愛